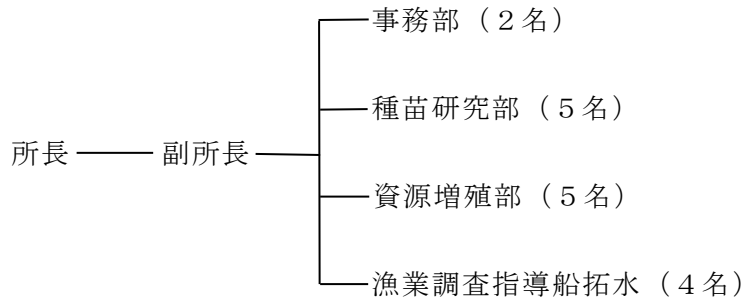


そ の 他

I 庶務一般

1 組織・機構

「福島県水産資源研究所」は、栽培漁業の推進と底魚資源研究の拠点として平成30年6月に相馬市で新たなスタートを切り、3年目を迎えた。



所在地等

水産資源研究所

〒976-0005 福島県相馬市光陽一丁目1番14

電話 0244-32-0792～4 FAX 0244-32-0795

E-mail shigenken@pref.fukushima.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37395c/>

松川浦分庁舎

〒976-0022 相馬市尾浜字追川18番地の2

電話 0244-38-6775 FAX 0244-38-6777

2 令和2年度事業別予算（千円）

款	総務費	635
項	総務管理費	635
目	人事管理費	635
款	衛生費	419
項	環境保全費	419
目	原子力安全対策費	419
款	農林水産業費	159,161
項	農業費	7,973
目	農業総務費	7,973

項	水産業費	151,187
目	水産業総務費	19
目	水産業振興費	27,416
目	漁業調整費	3
目	水産海洋研究センター費	3,826
目	内水面水産試験場費	1,706
目	水産資源研究所費	80,207
目	漁業調査指導費	38,007
合	計	160,216

Ⅱ 研究成果検討会・外部発表・一般公開等

1 研究結果検討会等

(1) 水産関係試験研究機関普及に移しうる成果等検討会

開催日時 令和3年1月14～15日

開催場所 福島県水産海洋研究センター

開催経過 令和2年度の研究成果として、「普及に移しうる成果」5課題、「放射線関連支援技術情報」2課題、「参考となる成果」2課題を福島県農林水産技術会議評価部会に提出した。

成果課題名	区分	担当者
<ul style="list-style-type: none"> ・福島県沿岸におけるホシガレイ天然個体の増加 ・アリザリンコンプレキソンによるイシガレイ・マコガレ仔魚への耳石標識技術の開発 ・底びき網漁業の漁場の偏りによる資源状況の変化 ・2021漁期における2017年級アサリの利用可能な資源量 ・松川浦における稚魚採集と漁獲加入の状況 ・ホシガレイ種苗生産における初期生残率向上の再現 ・閉鎖循環飼育装置によるアユ親魚養成コストの削減効果 ・閉鎖循環飼育装置によるアユ親魚養成技術の開発 	普及成果	平川直人 森口隆大 山田学 佐藤利幸 山田学 佐々木つかさ 實松敦之 實松敦之
<ul style="list-style-type: none"> ・個別飼育によるホシガレイの放射性Cs排出速度の個体差 ・卵巣に蓄積した放射性セシウムと成熟との関係 ・カリウムが魚類の放射性セシウム排出に与える影響 ・青ノリ加工場における放射性物質の分布状況 ・松川浦における食性の異なる2魚種の放射性物質濃度 	放射線	森口隆大 森口隆大 森口隆大 守岡良晃 守岡良晃
<ul style="list-style-type: none"> ・福島県沿岸におけるホシガレイの年齢と成長 ・福島県沿岸における2020年のヒラメ稚魚個体数密度 ・近年のマガレイの稚魚個体数密度と漁獲状況 ・福島県沖におけるメロウドの分布状況調査 	参考成果	平川直人 平川直人 白土遼輝 白土遼輝

(2) 研究成果報告会

なし

2 シンポジウム等における課題発表

(1) 課題発表

シンポジウム等の名称	発表課題名	発表者	年月日	開催地
イカナゴ・ヒラメ・クジラ・オキアミ検討会	福島県におけるイカナゴ調査結果について	白土遼輝	R2.7.3	オンライン
令和2年度東北ブロック底魚研究連絡会	福島県北部海域におけるメロウドの分布、資源状況について	白土遼輝	R3.3.10	オンライン
福島大学環境放射能研究所第7回成果報告会	福島県松川浦における食性の異なる魚類の放射性セシウム濃度	守岡良晃	R3.3.18	オンライン

(2) 投稿論文

投稿先	論文課題名	投稿者	発行
東北底魚研究第40号	福島県沖における震災後のマガレイの成長式の変化	守岡良晃 ほか	R2.12

3 漁業者等研修会の実施状況

年月日	研修会の名称	研修内容	対象者・人数	備考
R2.6.4	原釜機船底曳網船主会	沖合底びき網の操業時間とCPUEの分布について	沖合底びき網漁業者代表等20名	相双漁協
R2.7.15	がんばる漁業相馬地区沖底部会	令和元年漁期の沖合底びき網水揚状況	沖合底びき網漁業者代表等20名	相双漁協
R2.10.1	相馬地区沖合底びき網水揚拡大協議会	沖合底びき網漁業の水揚状況	沖合底びき網漁業者代表等30名	相双漁協
R2.11.6	相馬地区沖合底びき網水揚拡大協議会	県南部海域の資源状況と震災前の魚種別漁獲海域	沖合底びき網漁業者代表等30名	相双漁協
R2.12.8	相馬地区沖合底びき網水揚拡大協議会	沖合底びき網漁業の水揚状況	沖合底びき網漁業者代表等30名	相双漁協
R3.1.19	相馬地区沖合底びき網水揚拡大協議会	沖合底びき網漁業の水揚状況	沖合底びき網漁業者代表等30名	相双漁協
R3.2.10	相馬地区沖合底びき網水揚拡大協議会	沖合底びき網漁業の水揚状況	沖合底びき網漁業者代表等30名	相双漁協
R3.3.11	相馬地区沖合底びき網水揚拡大協議会	沖合底びき網漁業の水揚状況	沖合底びき網漁業者代表等30名	相双漁協

4 緊急時モニタリング調査関係報告会

年月日	会議の名称	会議内容	対象者・人数	備考
R2.4.20	相双地区試験操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 60名	相双漁協 書面開催
R2.5.22	相双地区試験操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 60名	相双漁協 書面開催
R2.6.19	相双地区試験操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 60名	相双漁協 書面開催
R2.7.17	相双地区試験操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 60名	相双漁協 書面開催
R2.8.5	相双地区試験操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 60名	相双漁協
R2.9.25	相双地区試験操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 60名	相双漁協 書面開催
R2.10.20	相双地区試験操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 60名	相双漁協 書面開催
R2.11.27	相双地区試験操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 60名	相双漁協
R2.12.17	相双地区試験操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 60名	相双漁協
R3.2.9	相双地区試験操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 60名	相双漁協 書面報告
R3.3.19	相双地区試験操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 60名	相双漁協

5 一般公開

(1) 月別見学者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
小学生						121	82	62			12		277
中高生													0
一般			3	8	40	8	78	30	30	45	14		256
合計	0	0	3	8	40	129	160	92	30	45	26	0	533

(2) イベント等での情報発信

催事名称・開催地	開催日・来場者数	内 容
第4回福島県環境創造シンポジウム・オンライン	R3.2.27 ～3.31	研究紹介 研究成果の展示

Ⅲ 職員名簿

令和2年4月1日現在

所属	職名	氏名	職名	氏名
	所長	山廻邊 昭文	副所長(兼)種苗研究部長	佐久間 徹
事務部	事務長	加藤 英治	主事	木村 耕
種苗研究部	主任研究員	實松 敦之	主任研究員	平川 直人
	研究員	佐々木つかさ	研究員	森口 隆大
	主任技能員	菊地 正信		
資源増殖部	部長	島村 信也	主任研究員	佐藤 利幸
	主任研究員	山田 学	研究員	守岡 良晃
	研究員	白土 遼輝		
調査指導船	船長	渡辺 忠	機関長	永山 清友
拓水	主査(兼)一等機関士	今泉 正亮	通信技師	佐藤 仁一